

先進医療として告示されている不妊治療関連の技術（令和5年4月1日時点）

| 先進医療の 類型 | 申請技術名 | 先進医療技術名 | 適応症 | 技術の概要 |
|-------------|----------------------|---------------------|--|---|
| 先進医療A | PICSI | ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術。 |
| | タイムラプス | タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。） | 培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術。 |
| | 子宮内細菌叢検査（EMMA/ALICE） | 子宮内細菌叢検査 1 | 慢性子宮内膜炎が疑われるもの | 子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。 |
| | 子宮内フローラ検査 | 子宮内細菌叢検査 2 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまでに反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。）、慢性子宮内膜炎が疑われるもの又は難治性細菌性膣症 | 子宮内の細菌叢が、正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類の組成を判断する検査。 |
| | SEET法 | 子宮内膜刺激術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。） | 胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を作り出す技術。 |
| | 子宮内膜受容能検査（ERA） | 子宮内膜受容能検査 1 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | 子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。 |

先進医療として告示されている不妊治療関連の技術（令和5年4月1日時点）

| 先進医療の 類型 | 申請技術名 | 先進医療技術名 | 適応症 | 技術の概要 |
|-------------|-----------------------------|---------------------|---|--|
| 先進医療A | 子宮内膜受容期検査 (ERPeak) | 子宮内膜受容能検査 2 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | 子宮内膜を採取し、RT-qPCRを用いて遺伝子の発現を解析し、内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査。 |
| | 子宮内膜スクラッチ | 子宮内膜擦過術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | 胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術。 |
| | IMSI | 強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。） | 強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術。 |
| | 二段階胚移植法 | 二段階胚移植術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者（子宮内膜刺激術が実施されたものに限る。）に係るものに限る。） | 先行して初期胚を移植し、後日、継続培養を行った別の胚盤胞を移植する技術。 |
| | マイクロ流体技術を用いた精子選別 | 膜構造を用いた生理学的精子選択術 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | 特殊な膜構造を用いて、成熟精子の選択を行う技術。 |
| 先進医療B | 不妊症患者に対する タクロリムス 投与療法 | タクロリムス投与療法 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。） | 有効な既承認治療がなく、標準治療は存在しない母体－胎児間の免疫学的な異常を正常化することによる、母体の免疫異常が原因とされる不妊症に対する治療を行う技術 |
| | 着床前胚異数性検査 (PGT-A) | 着床前胚異数性検査 | 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床若しくは妊娠に至っていない患者若しくは流産若しくは死産の既往歴を有する患者に係るもの又は患者若しくはその配偶者（届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。）が染色体構造異常を持つことが確認されているものに限る。） | 胚から一部の細胞を採取して染色体の量の解析を行い、染色体数が正常な胚を選択する技術。 |